

# 大ケヤキ

学校だより「第25号」  
平成28年10月19日発行  
高田中学校長 野内 昭

## 吹奏楽部

### 「銀賞」獲得!!

#### ～県大会でもすばらしい演奏!～

先週の木曜日(13日)、いわき市芸術文化交流館「アリオス」で開催された「第70回 福島県下小・中学校音楽祭(第2部合奏) 中学校の部」で、本校吹奏楽部が「銀賞」を獲得しました。

今回は、出場順が3番目ということで、当日は午前5時50分とかなり早い時間帯の出演となりました。その影響が出るのではないかと少し心配しましたが、それを払拭するような演奏でした。

平二中、棚倉中に引き続き、午前10時25分頃の演奏となりました。全会津大会でもすばらしい演奏でしたが、県大会ではそれを上回る演奏でした。途中、感動してこみ上げてくるものがありました。演奏終了後記念撮影の場所で楽器運搬や応援で来られた保護者の方にお聞きしたところ、同じような感想を話されていました。

今回の審査結果で、他の会津代表の一箕中と若松五中(植田中辞退による繰り上げ)が全国大会の出場権を得ました。このこと

もすばらしいことだと思います。

でもここで、考えてみたいことがあります。それは、一箕中と若松五中の吹奏楽部員には、小学校(一箕小や門田小、城南小)でも経験してきた生徒がいるはずで、小学校3年生の3学期あたりから練習を始めたと思いますので、中学校に進学してすでに3年間は演奏していることになりそうです。それに比べて本校の吹奏楽部員は、中学校に入ってから初めて楽器に触れる生徒がかなりいます。それにもかかわらず、(昨年度もそうですが)かなり難しい曲をあれだけ演奏できるようなったわけです。1年生はたった半年の間です。これは相当の努力と頑張りですね。そしてこのことは、「継続は力なり」「練習は嘘をつかない」「努力は必ず報われる」を実証してくれたことになりました。

実はこれらについては、大会当日の吹奏楽部の皆さんが帰校しての解散式と、17日(月)の4校時に行った全校集会の時にお話した内容でもあります。

それについても、吹奏楽部の皆さん、よく頑張りました。今回も感動をありがとうございました。

### お詫びと訂正

前号で、吹奏楽部の県大会出場を「2年

連続」と書きましたが、実は平成26年度も出場しており、「3年連続」の誤りでした。お詫びし、訂正いたします。

## 学校保健会年間テーマ

### 『子どもとメディア』

#### ～ネット依存とその対策～

『学校保健』の小冊子9月号が届き、特集である『子どもとメディア』の内容が「ネット依存とその対策」になっていました。大きく、次の3つの柱立てになっています。

- 1 ネット依存とはどういう状態か
  - 2 ネット依存にさせないために
  - 3 ネット依存に陥っている子どもたち  
にどのように対応すればよいのか
- それぞれについて要点をご紹介し、また一緒に考えていきたい思います。

#### 1 ネット依存とはどういう状態か

ネット依存かどうかの診断規準については、実際にはまだないのが現状だそうですが、ネット依存の先駆的な研究者の一人であるヤング氏によれば、次の8項目の内5問以上当てはまればネット依存を疑えていいということです。

1. あなたは、インターネットに夢中になっていると感じていますか。
2. あなたは、満足を得るために、ネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか。
3. あなたは、ネット使用を制限したり時間を減らしたり、完全に止めようとしたが、うまくいかなかったことがたびたびありますか。
4. あなたは、ネットの使用時間を短くしたり完全に止めようとしたりしたとき落ち着かなかつたり不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じたりしますか。
5. あなたは、使い初めに意図したよりも長い時間オンラインの状態ですみますか。
6. あなたは、ネットのために、大切な人間関係、学校のことや部活のことを台無しにしたり、危うくなるようなことがありますか。
7. あなたは、ネットへの熱中のしつぎを隠すために、家族、学校の先生やその他の人達に嘘をついてことがありますか。
8. あなたは、問題から逃げるために、または絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといった嫌な気持ちから逃れるために、ネットを使いますか。

いかがでしょうか。ただ、本人が自己評価すると得点が低くなる傾向にあるということなので、親さんか先生など、本人の生活の様子をよく知る大人が、本人の状態が依存かどうか判断する際の一つの目安としてチェックしていただいてもよいということです。

心配でしたら、お子さんと一緒にチェックしてみたいかがでしょうか。